

2020年3月期 第3四半期 決算概要

2020年2月13日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

2020年3月期 第3四半期 決算ハイライト

大幅な減収減益、国内2工場の減損で通期では上場来初の最終赤字となる見込み

売上	連結	連結売上高は、前年同期比85.7%、44億円減の267億円。
	日本	前年同期比86.9%の109億円。 自動車関連、電子部品・半導体関連需要の低迷が継続。
	中国	前年同期比83.2%の127億円。 自動車関連、電子部品・半導体関連需要の低迷が継続。
	東南アジア	前年同期比90.6%の11億円。 ベトナム、インドネシアは前年横ばいも、これを除く東南アジアが低調。
	欧米他	前年同期比95.3%の18億円。 引き続き米州は堅調に推移したものの、欧州で受注減。
利益		営業利益は前年同期比11.1%の2億41百万円 経常利益は前年同期比8.6%の1億84百万円 四半期純損失は27億13百万円（前年同期は四半期純利益15億83百万円）
ネット資金		減収となったが販管費抑制等により、期首から同水準を維持。



損益計算書サマリー

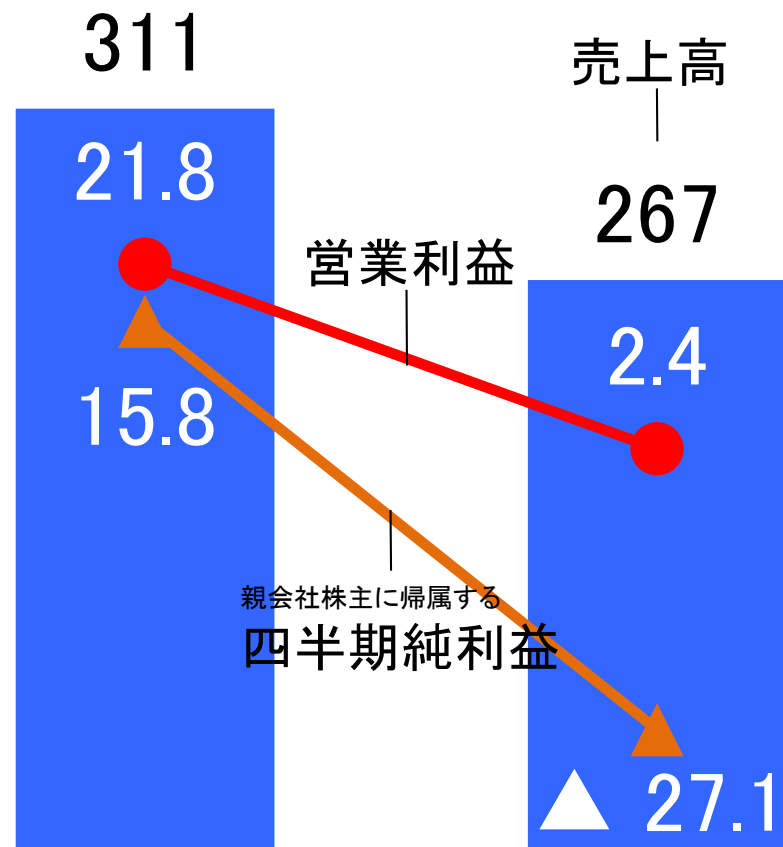
(単位:百万円)

	2019年3月期 第3四半期		2020年3月期 第3四半期		前年同期差	前年同期比
売上高	31,165		26,711		▲4,453	85.7%
営業利益	7.0%	2,181	0.9%	241	▲1,939	11.1%
経常利益	6.9%	2,158	0.7%	184	▲1,973	8.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5.1%	1,583	-	▲2,713	▲4,297	-



売上高と営業利益(3Q累計比較)

(単位: 億円)



【前年同期比較】

売上高	44 億	53 億	百万円	減収
営業利益	19 億	39 億	百万円	減益
純利益	42 億	97 億	百万円	減益

※親会社株主に帰属する四半期純利益

2019年3月期

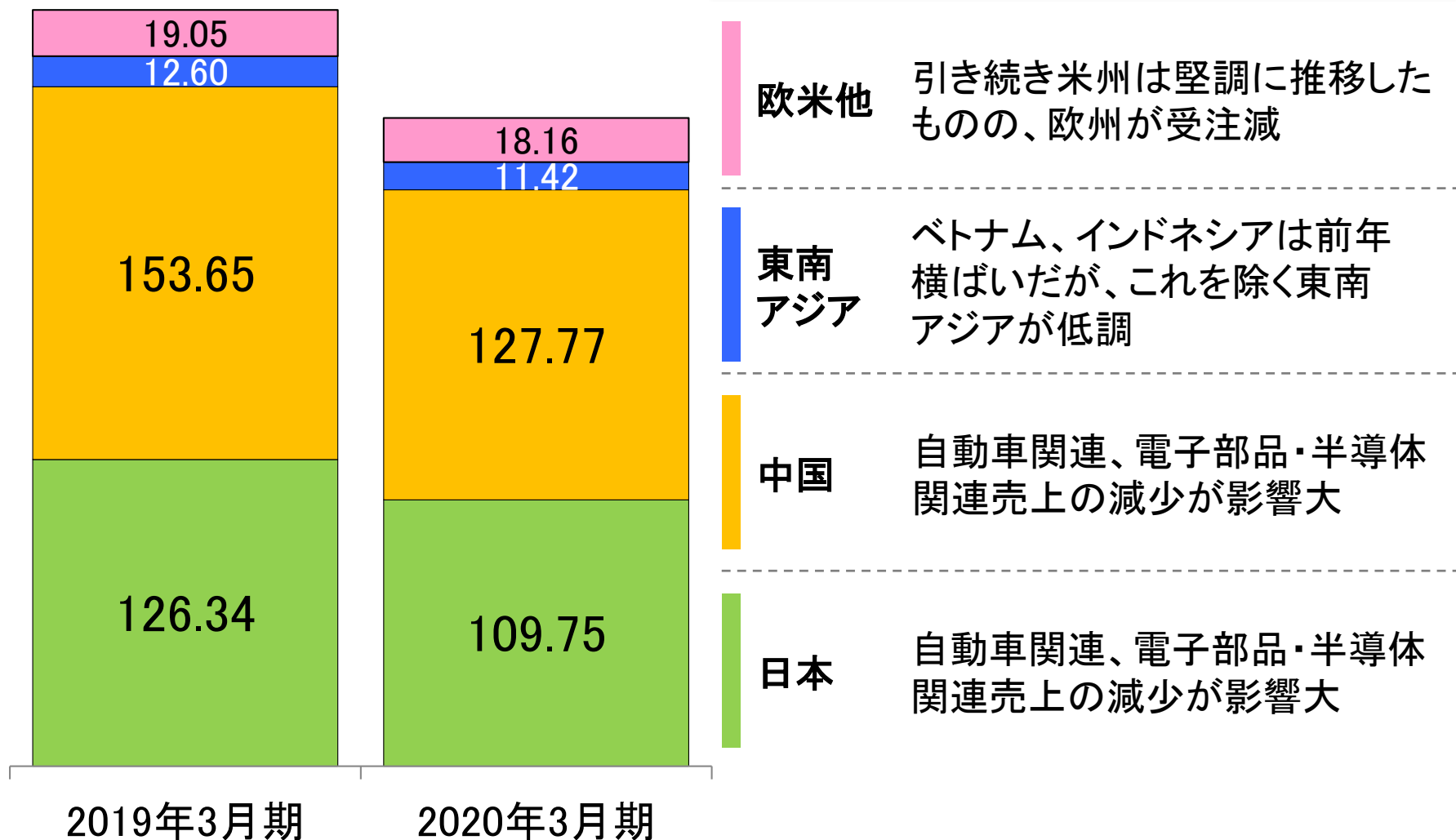
2020年3月期



地域別売上高(3Q累計比較)

(単位: 億円)

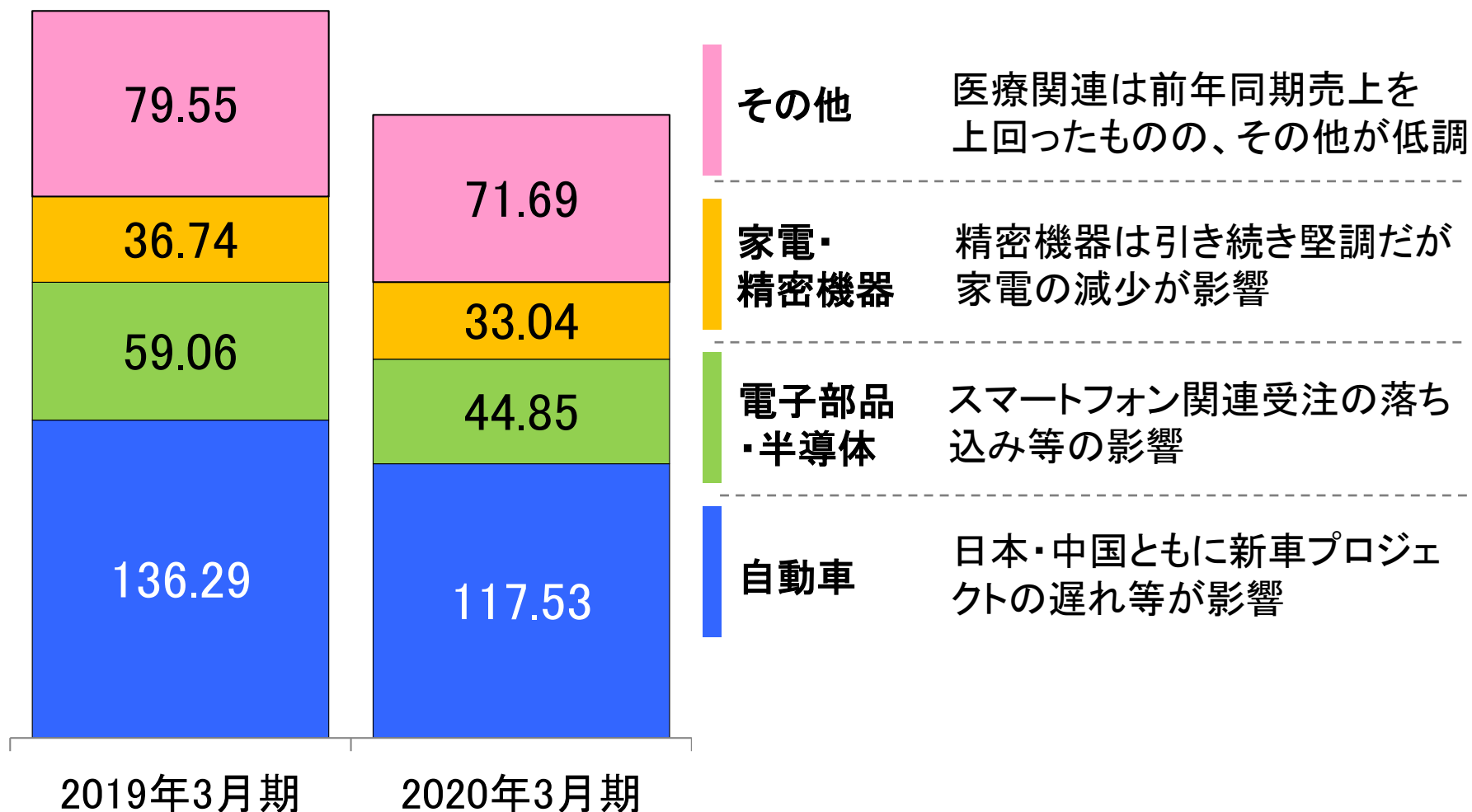
全ての地域において減収



業種別売上高(3Q累計比較)

(単位: 億円)

全ての業種において減収



営業利益増減(3Q累計比較)

(単位:百万円)

2019年3月期

2,181

前年同期実績から
1,939百万円の減益

売上減少
▲1,271

原価率上昇
▲984

販管費減少
316

2020年3月期

241

【売上の主な増減要因】

■日本・中国での自動車関連及び電子部品・半導体関連の減収が大きく影響

【原価率の主な増減要因】

■日本・中国・マレーシアでの受注減少に伴う工場の操業状況悪化による原価率の上昇

【販管費の主な増減要因】

■グループ全体で販売管理費を抑制



国内2工場の減損



■北上工場

・主たる製造品：プラスチック金型用部品

固定資産の減損内訳

建物	12百万円
有形固定資産	1,006百万円
無形固定資産	10百万円
北上工場 計	1,029百万円



■宮古工場

・主たる製造品：プレス金型用部品

固定資産の減損内訳

建物	275百万円
有形固定資産	792百万円
無形固定資産	15百万円
宮古工場 計	1,083百万円



貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2019年3月期末	2020年3月期 第3四半期末	比較増減
総資産	31,155	26,545	▲4,609
総負債	15,420	14,454	▲966
うち有利子負債	7,079	6,883	▲196
純資産	15,734	12,090	▲3,643
ネット資金	▲3,499	▲3,555	▲55
自己資本比率	50.4%	45.4%	▲5.0pt

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	2,410	1,754	▲656
減価償却費(無形固定資産含む)	1,267	1,328	61



2020年3月期 通期の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 通期(連結)			
		前回予想 (2019/11/8)	修正予想	前期差 (前期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	40,935	35,400	35,400	▲ 5,535 (86.5%)	0 (100.0%)
営業利益	6.3% 2,578	1.3% 450	1.6% 570	▲ 2,008 (17.5%)	120 (126.7%)
経常利益	6.2% 2,547	1.0% 350	1.3% 470	▲ 2,077 (18.5%)	120 (134.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2.3% 960	0.1% 50	- ▲2,630	▲ 3,590 (-)	▲ 2,680 (-)
自己資本利益率 (ROE)	6.0%	0.3%	-	-	-

2020年3月期
配当予想

2円 = 中間 0円 + 期末 2円(予定)



参考資料



会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,282名(グループ連結、2019年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)



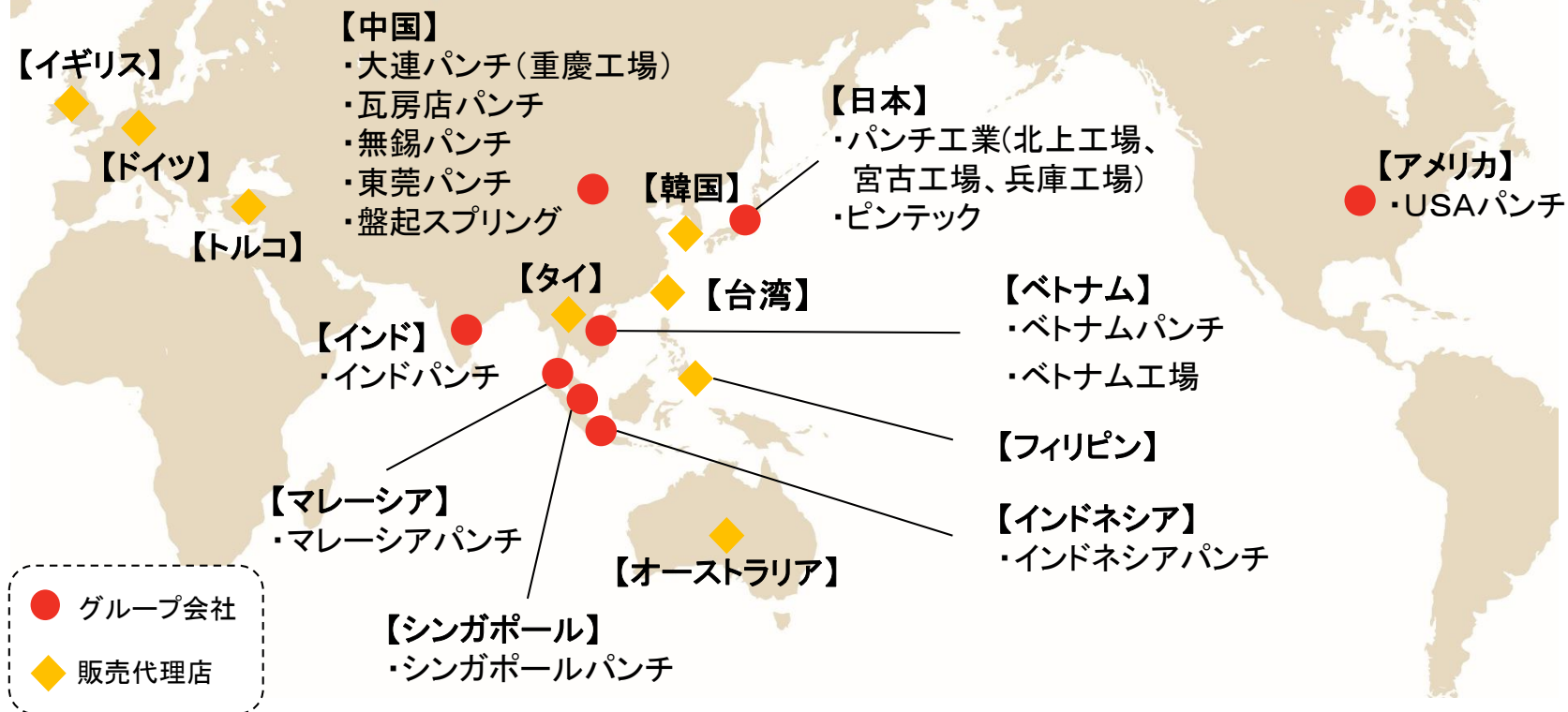
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

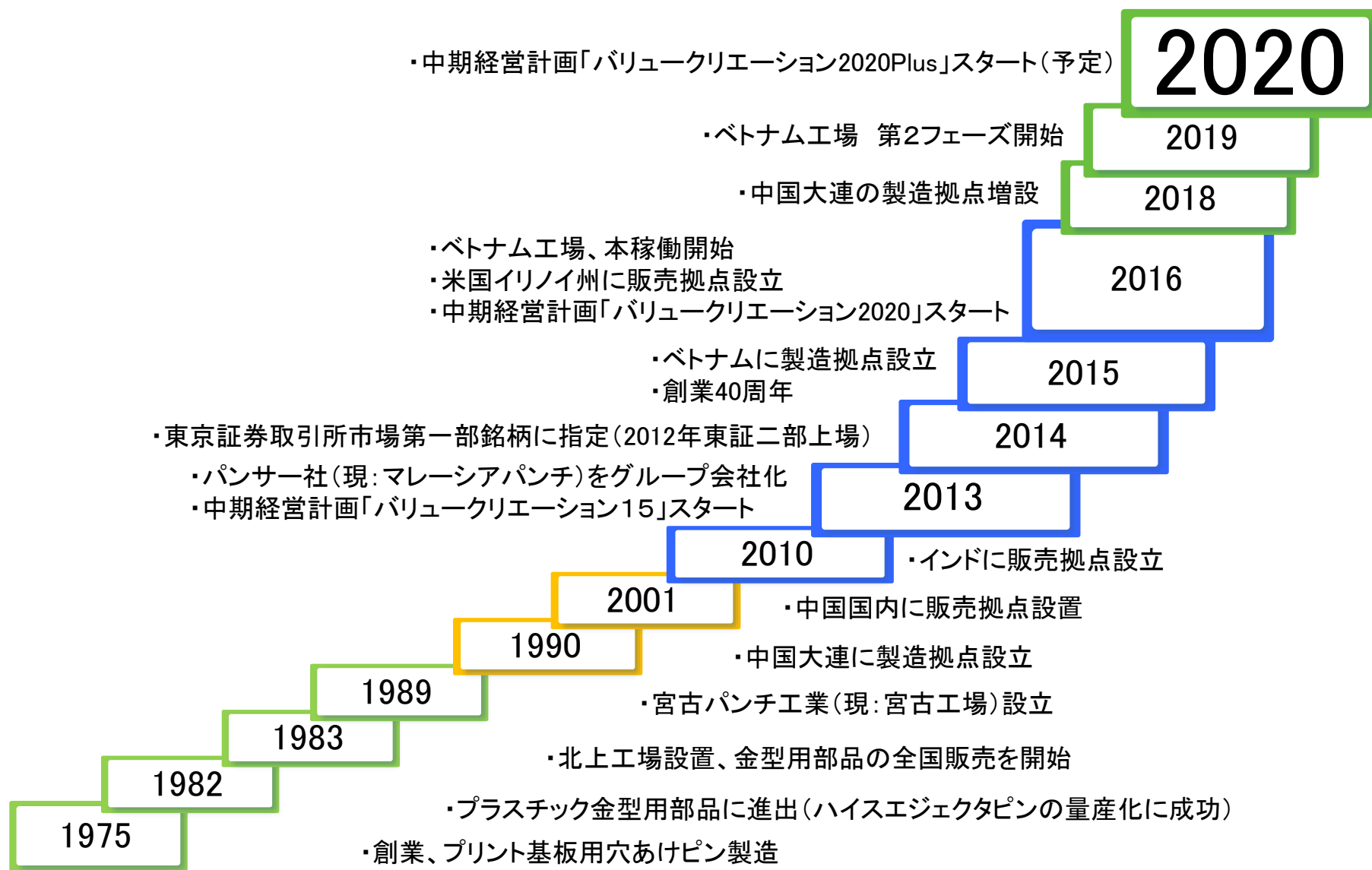
日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

日本	海外
11	40
カ所	カ所

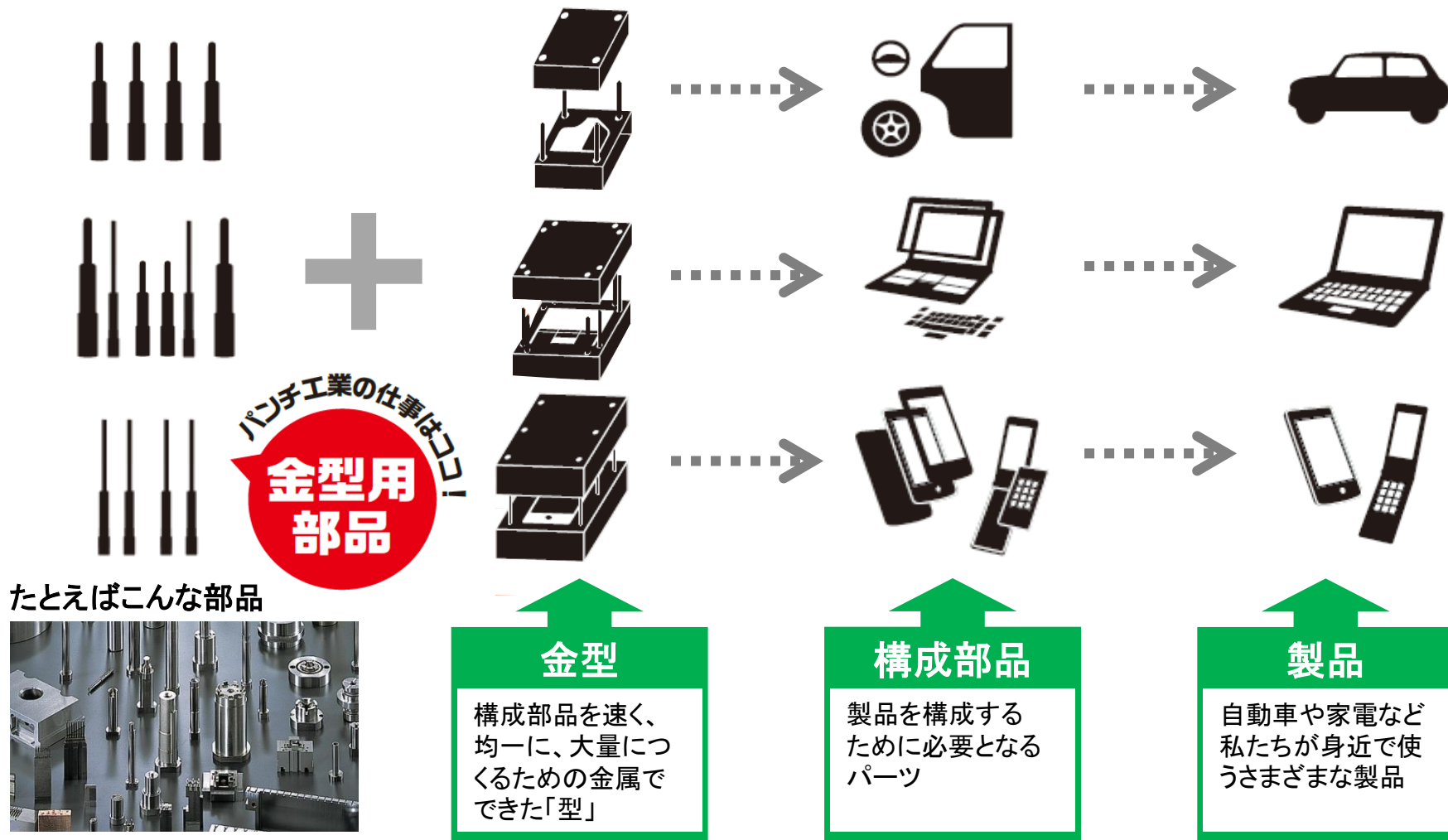


沿革

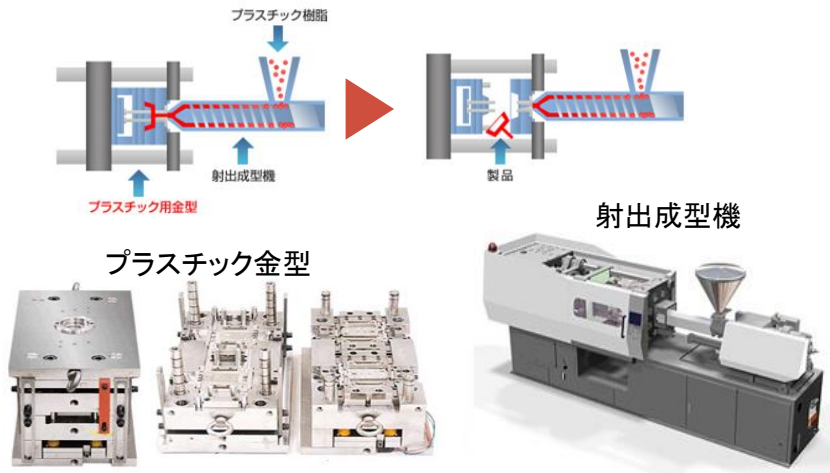


事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケートリング

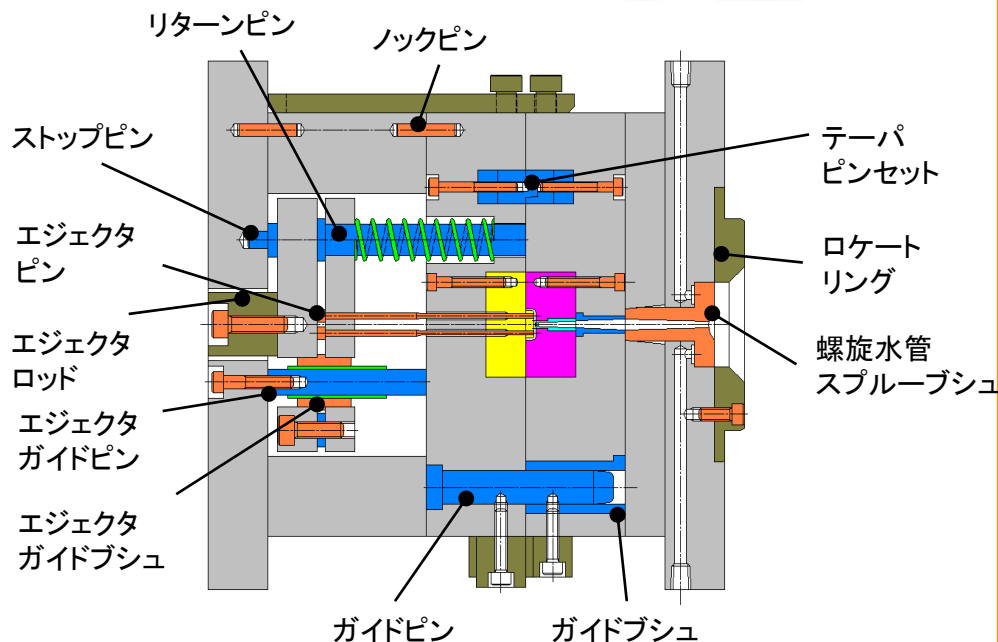
●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

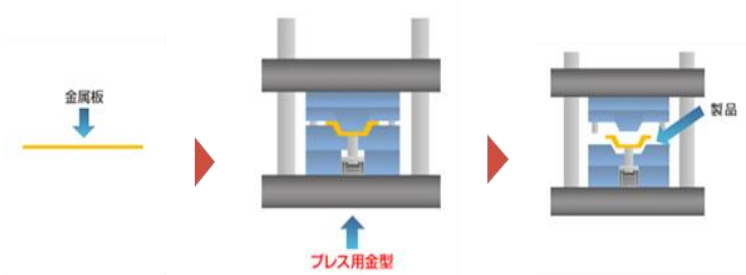
当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



プレス金型と金型用部品



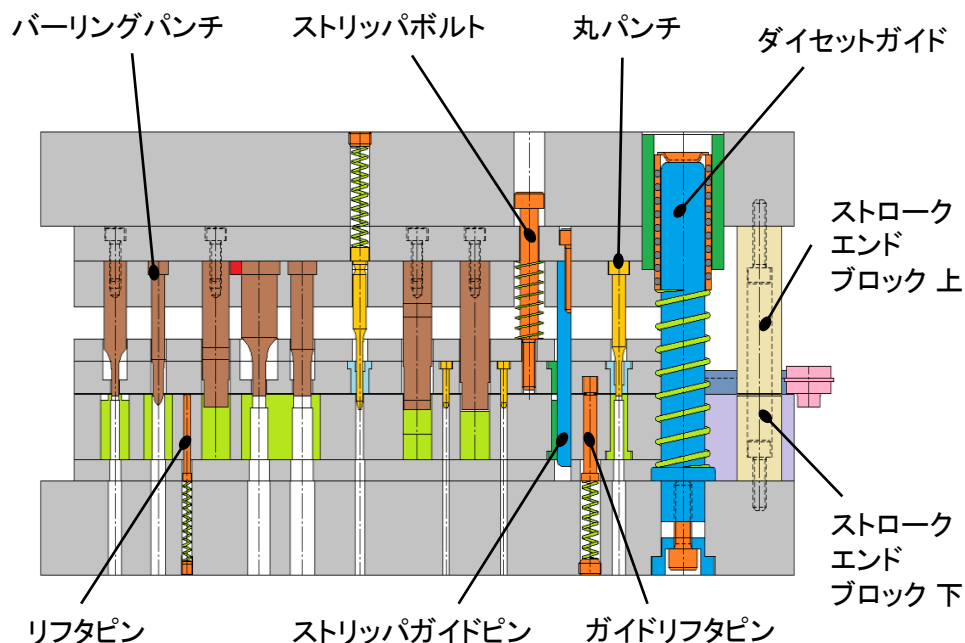
プレス金型



パンチ



ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- | | |
|-----------|---|
| パンチ…………… | パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品 |
| ダイセットガイド… | 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品 |



パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

タイムリーで的確な
ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一気通貫の生産体制

2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

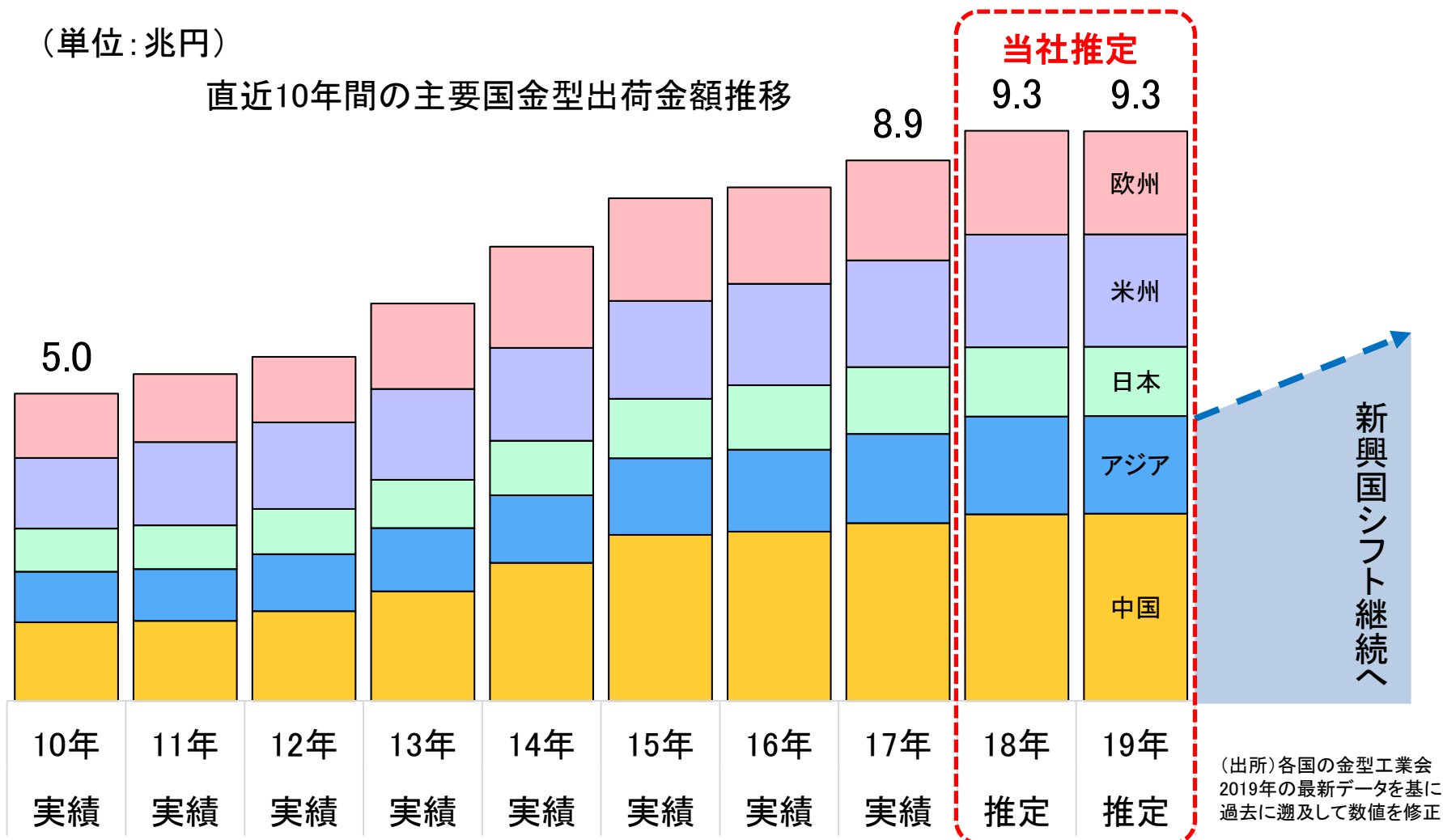


金型市場の予想(金額)

リーマンショック直後をボトムに着実に右肩上がりの金型市場。

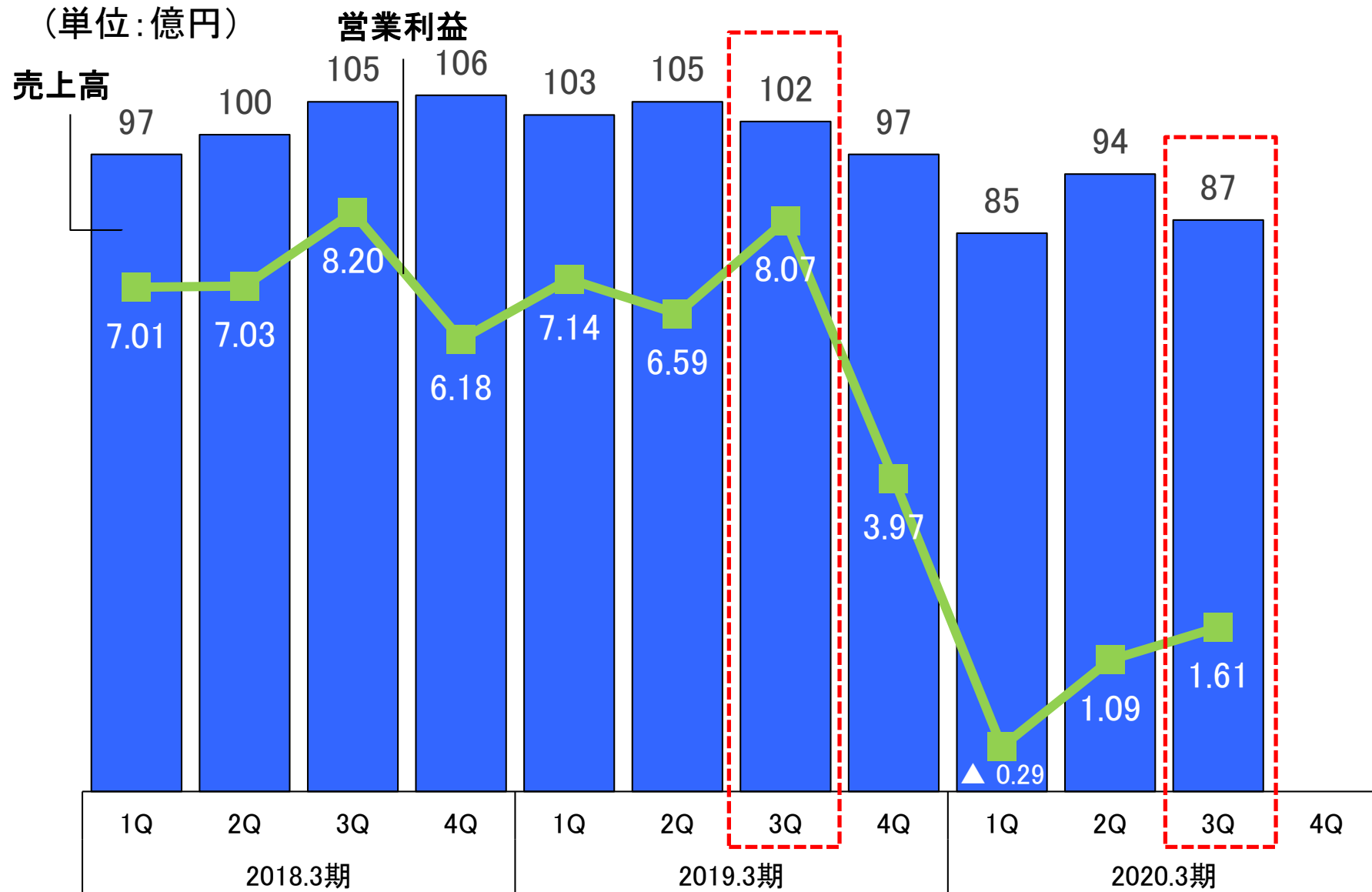
(単位:兆円)

直近10年間の主要国金型出荷金額推移



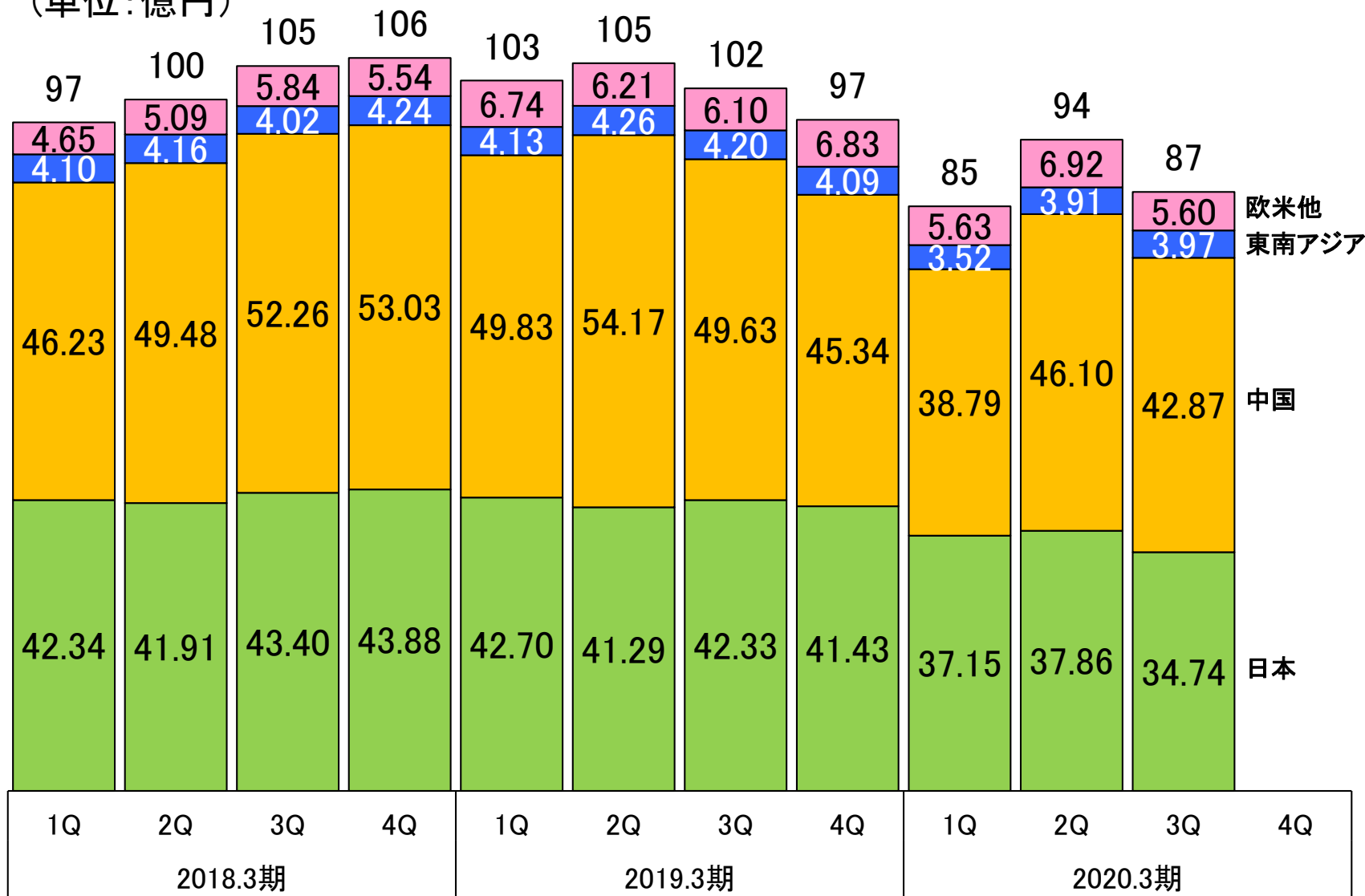
売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



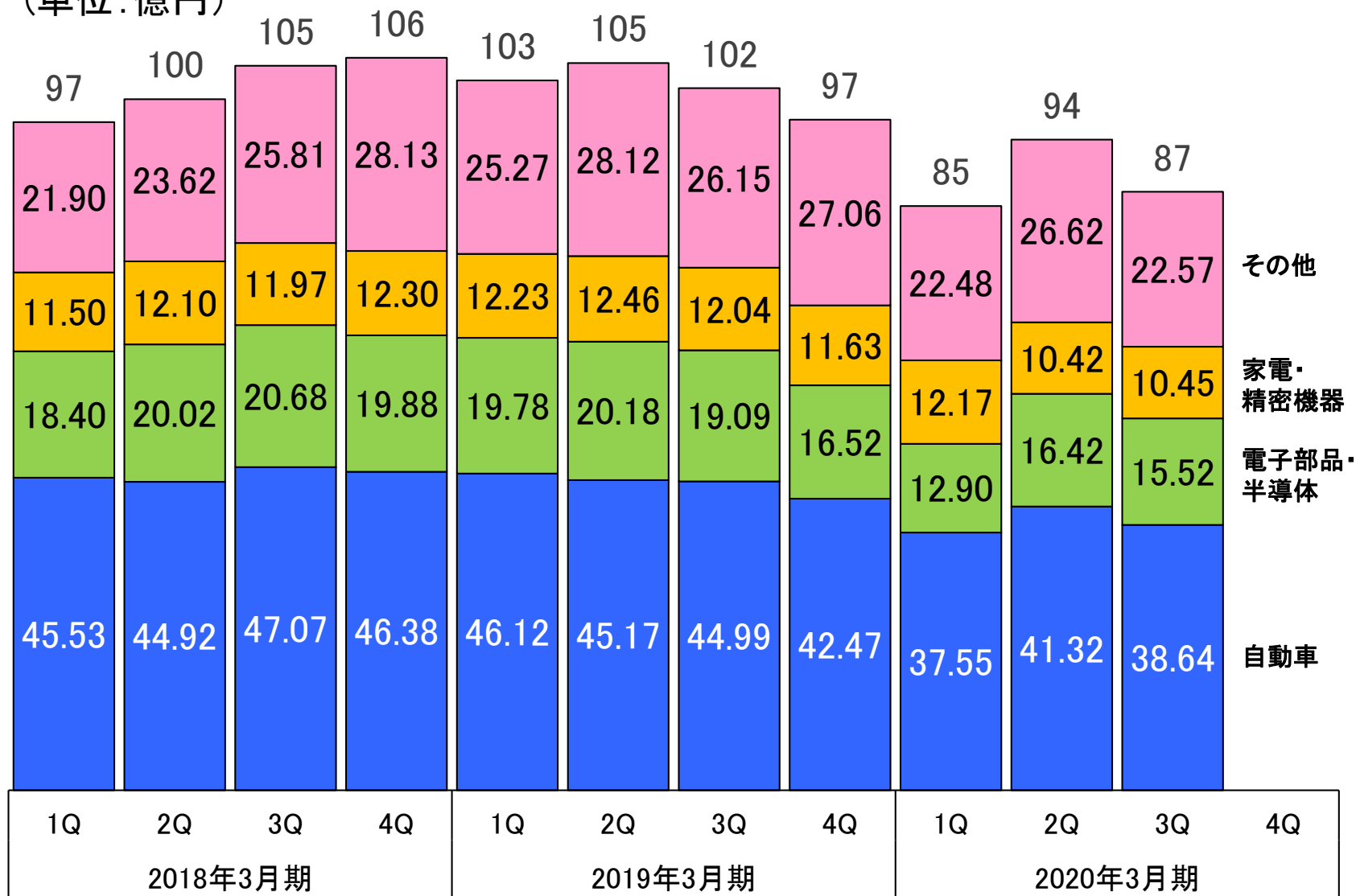
地域別売上高

(単位:億円)



業種別売上高

(単位: 億円)



CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

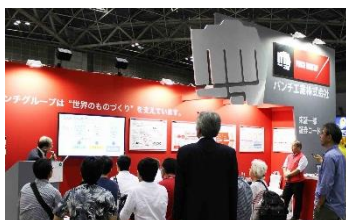
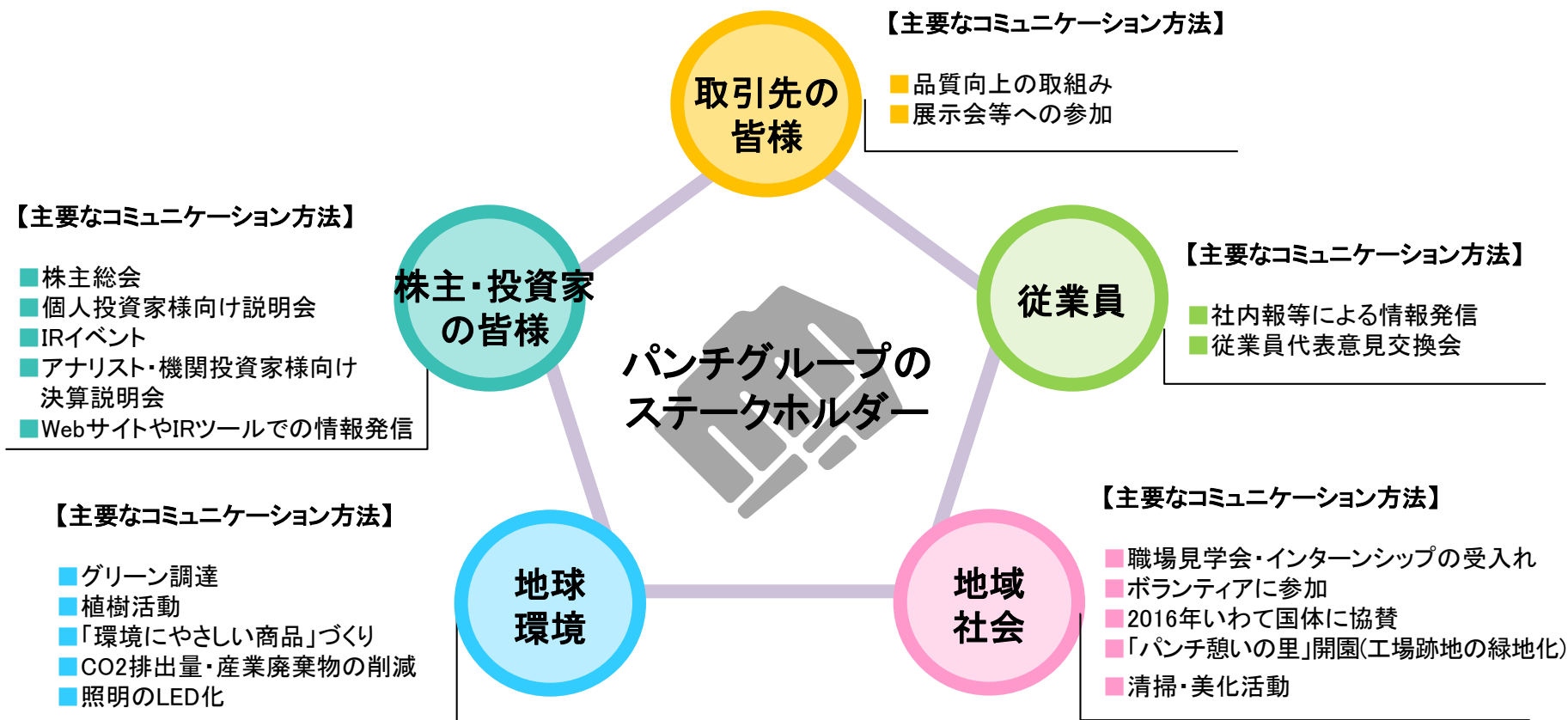
企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動
(2016年いわて国体)



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。